

【年の始めに思う】



理事長 西澤公一

新年明けましておめでとうございます。

昨年はいろいろ考えさせられるニュースがありました。その中で11月に発表された、入試制度改革の目玉であった筈の英語民間試験と国語、数学の記述式問題の導入がドタンバでキャンセルされたことは、対象受験生には大変ショックなことであったと思われます。この報道は、入試とは別なことですが私が以前から漠然と感じていたことを改めて考えさせるきっかけとなりました。

今の大学入試は（それにつながる中学、高校入試も）「良い大学」に入るための選別、ふるい落としのシステムではないでしょうか。そしてその前提として「良い大学」は高収入が得られる就職につながり、それが幸せな人生につながる、という考えが当たり前とされているように感じます。では、そのような「高学歴→高収入→幸せな人生」という流れに入れられない人、入らない人は不幸せなのではないでしょうか。

障がいを持つ人の多数、特に知的な障がいを持つ人は始めからこの「流れ」の枠外にいます。彼・彼女らの収入は障害者年金と、働いている人は作業所、もしくは一般就労先の工賃だけです。とても高収入とは言えません。しかし、私の経験から一つだけ言えるのは、彼・彼女らが良い表情を見せるのは、何よりも「自分」と自分のやることが肯定的に認められた時（工賃も評価の一つとして大事です）だということです。幸せとは何かとは簡単には言えませんが、そういう喜びは障がいを持たない人でも同じでしょう。自分が自分であることが受け入れられる、やることある、やることが評価される、これらは「幸せ」の大きな部分を占めるのではないかと考えます。

知的障がいを持っている人たちは、しばしば人間のあるべき姿を示してくれていると私は考えています。彼らのように「高学歴→高収入→幸せな人生」という思い込みから離れて見たらどうでしょう。自分が楽になるだけでなく、「高学歴→高収入」の流れから外れる人（大学受験でうまく行かなかった人、非登校の人、ひきこもりの人、外国人労働者、その子供たちなど）を、外れているということだけで、失敗者、社会のお荷物と捉えることもなくなるのではないのでしょうか。

もちろんこれは低所得であっても良いということではありません。健康で文化的な生活を営めるような社会的支援を制度として作ることが必要です。障がいを持つ人に対しても今ある支援制度が当を得ているのか、安心して生活できることの基礎となる収入；障害者年金が充分であるのか、が問題になります。

制度の改革は国民全体の問題となりますが、身近なこととして私たちができるのは、彼・彼女らが良い表情でいられる状況をできるだけ多く提供することだと考えます。リード・エーではそのための取り組みの一つとして、個性を活かすということを法人理念に掲げ、大切にしています。また、葦の会作業所では、その実現のために多様な作業種目を用意し、メンバーさんたちがその個性に応じて活躍できる場を提供しています。更に、それぞれのできることが増え、より充実感（より高い工賃も）が得られるように支援しています。

今年もいきいきした作業所、くつろげるホームとなるよう職員一同努めてまいります。
よろしくご挨拶致します。

畑日記

秋葉 健太

今年最後の大事な仕事は寄せ植え作り。毎年お願いされる寄せ植えが今年もお願いされることになり、それを作ることから12月は始まりました。

今回作った寄せ植えは、一鉢に7個ほど苗を入れたものを30個以上、他は値段に合わせて鉢のサイズが少し大きいものを5個ほど。シクラメンや葉ボタンを使って可愛い寄せ植えを作りました。作るのは非常に楽しいのですが、私はセンスが良い方ではないので、毎年苦労しています。依頼のお電話を受けた後に、すでに持っていた寄せ植えの本を見返したり、新たに本を買ったりして、苗や色の組み合わせの勉強をしましたが、いざ始めてみると、色に統一感がなかったり、寒い印象を与えてしまうデザインになってしまったり、榑崎さんからダメだしをされました。ただ、ダメな所が分かれば、その後どうすれば良いかはセンスのない私でも何とかなるもので、最初はさっと「これでどうだ」と言わんばかりにデザインを考えましたが、次第に一つのデザインにかかる時間は長くなり、少しずつ良いものが出来上がっていくようになりました。



デザインが決まった寄せ植えに土を入れて仕上げてもらう行程は、安部さんや今井さん、奥さんや増田さんをお願いしていましたが、その中で刺激になったのは奥さんと増田さんの存在ですね。2人には途中からはデザインを考えてもらうのもお願いしました。増田さんは最初消極的な感じをかもし出していましたが、実は興味があったらしく、なんやかんや積極的に色々試し、デザインとして採用することはなかったのですが、私が考えつかない組み合わせは新鮮でした。奥さんは最初から積極的で、色のつながりがあると見栄えが良くなるなどの寄せ植えの基本も意識して作っていました。私は個人的な趣味として、自然と地味な色合いになりがちな一方、奥さんは明るい色合いを自然と作っており、その点において私よりもセンスはあると思いました。そこに少し手を加えて作ったのも何個かあります。そうして依頼された品を作り上げ無事納品し、さあこれで年末の大事な仕事は終わったかなと思ったところ、寄せ植え10個の追加受注。どうやら、寄せ植えを受け取った方が家の前に置いていたところ、ご近所の方が「私も欲しい」と言ってくくださったようです。嬉しい誤算です。

その仕事も終わった今、畑では多肉植物の整理を初めて本格的にやったり、(実は多肉植物は増えるがまま…な感じだったので) いろんな所に散らばった苗を種類ごとに整理したり、忙しくて放置していたハウス横の庭の雑草を抜いたり、地上部が枯れた植物を切ったりと環境の整備を行って



います。段々と冬の装いになっていく様子が私は好きで、これを書いている日も庭の手入れを皆で楽しんでやってきました。そして、動いている内に身体が熱くなり、上着を脱いで作業を行っていたら、お腹を冷やして痛くするという子供みtainなことをやってしまったので、皆さんも体を冷やさないよう注意してください。ではまた来年。良いお年を！

奥君日記よ (2019年12月)



- 2日 さて、今年のカレンダーも一枚になった。作業場では「银杏箱ミニ」を作っている今日だ。
- 3日 今日の水彩は「葉牡丹・レモン・大根」余りの静けさに眠くなる場面もあったが・・・！？
水越君一人いないだけなのだが・・・。
- 4日 いきいき音楽は小林先生で12月に入り「クリスマスメドレー」みんな知っている歌なので、大きな声で歌った！
- 6日 今日の陶芸は色付けをした。松本君は眼科の優しい女の先生に渡したいらしい。「貰ってくれば良いね」と誰か。帰りはバスで「青木君と一緒に」
- 9日 午前は居た水越君は午後に帰った。「元気になったら来れば良い」と誰か。居ないときに限って、箱作りは忙しい。
- 10日 今日は野尻君と水越君が休みだ。银杏箱大を桑原君達で作った。枠を作る松本君は一人で、忙しい。桑原君と俺が底打ちをしているので直ぐに無くなる枠だった。ホームに戻ると「本間さんと可愛い土屋さん」が、来ていた。本間さんの言う事をメモしていたのが、印象的。新しく入る世話人さんなのかも知れない！？
- 11日 今日も水越君と野尻君は休み。1階作業場は、俺が一人で银杏箱を作る。いつもより捗った様に思う。
- 12日 今日はマスクをして水越君参上だ、しかし1階作業場の皆に帰った方が良いと言われ、午後より帰宅。完全に風邪「咳・痰・鼻水が半端ではない」健康な皆が水越君一人のために振り回されている感じだ。本日より自転車掃除が始まった。今日は5台だけ。そう言えば陶芸の小野さんも風邪をひいたらしく「明日の陶芸はありません」と池田さん。俺達の池田さんは元気だ。この頃、帰りは一人で何か良い！
- 13日 今日も自転車掃除あり、6台で一日かけて仕上げた俺達。ホームに戻ると本間さんで、陽気な本間さんが待って居た。
- 16日 今日は用事があったので少し遅れの俺だが「畑では、オッ君どうして」としつこく聞いてくる皆だ。久保君曰く「オッ君は正直に言い過ぎだと思う」
- 17日 竹ノ塚自転車16台、昔に比べると遥かに少ないが10台以上あると今日はある方だと思う。トラックには9台しか積めないため往復で始まる掃除だ。帰りは桑原君と一緒に。ホームに戻ると本間さんと土屋さんで、この前と同じ顔で嬉しかった今日だ。
- 18日 畑では、遠君と植え替え。本日、誕生日の俺は「安部・増田・久保君に誕生日おめでとう」と言われた。ホームでも竹内さんや皆に祝って貰った。みんな有難う！！
- 19日 寒かった今日は、ベルクス古千谷にて高島さんと花売りだ。俺と高島さんは、珍しいと思う組み合わせだ。「寄せ植え」が売れて良かったと思う！
- 20日 午後より公園掃除に行く。それは榎崎さんと一緒なのだが3時のおやつを気にする和也君が、公園の真ん中に立っていた。「早く掃除を終えて作業場で食べたら良い」と榎崎さん。人数が多いので直ぐに終わった。それにしても落ち葉が多い公園だ、そして子供たちが居なくて良かったかも。今日は寒いので誰も外には出て来ない。
- 25日 ホームでクリスマス会をした。和也君の赤鼻のトナカイに始まったが、食べ始めたらあっという間に終わったクリスマス会だった。



作業所日記

高島 明美

今年の冬は、カラッとした晴天が続かず、雨がよく降りましたね。そのせいか、いつもは乾燥で私はのどが痛くなる時期ですが、まだまだ調子いい感じです。流行っているインフルエンザも、葦の会のメンバーさんは、今のところ誰もかかかっていなくて、元気に新年を迎えられそうです。よかったです。

乾燥と言えば、火事が多くなる時期ですね。12月初めに作業所で避難訓練をおこないました。お昼休み終了の少し前に火災報知機を鳴らし、一斉に避難開始です。靴を履き替えに行こうとしたり、「避難訓練聞いていないよ！」とおしゃべりしていたりする人がいましたが（後で注意されました）、全体としては前回よりもスムーズに素早く避難できました。最後までしっかりハンカチを口にあてている人も何人もいて、真剣さが伝わってきました。いざというときに困らないように、訓練を重ねていきたいと思いました。



さて作業所内のお仕事は、師走らしい忙しい日々が続きました。検尿の検査キットは4種類ほどきて、すべて入れるものや入れ方が違います。職員も混乱しそうになるなか、メンバーさんは当然のように覚えていてどんどんこなしてくれていました。検尿カップ折はなかなか難しく、手が痛くなる作業ですが、松村さんや吉村遼さんは「好きな作業」だと言って黙々と折ってくれていました。紙入れは、花房さんや秀島さんがスピード勝負で入れてくれています。スピッツにシールを貼る作業は、花田さん・幸坂さん・大久保さんがとても上手！透明のスピッツにメモリがあるのを確認しながら曲がらないように貼らなくてはいけないので、職員が目を細めながら慎重にやっている横で、サッと貼って終わらせています。このところ花田さんは細かい作業をするときに眼鏡をかけているのですが、なかなかいたについてきて、またそれがカッコいい！のです。

そのほかにも、アニメキャラクターの缶バッジやクリアポスターを袋に入れる封入の作業が4種類きて、だいたい2.3日で終わらせてほしいとのことでした。どんどん数をこなさなくてはいけない時に、白羽の矢が立つのが、荒木さん・鄭さん・宮島さん・田沢さん。そして、このところ飛躍的に素早く丁寧になれるようになってきたのが、花房さんです！特に小さめの袋に入れるのが早い早い！！気づくと終わっているのが、職員の次の準備が間に合わないほどです。以前はグシャッとなってしまふこともあったのですが、丁寧に入れることができるようになり、ほとんどミスありません。これからも期待してますよ！そうそう！大学の入学願書の書類5点封入のお仕事があったのですが、封筒に入れる向きや順番が決まっています。それも皆で仕上げた納品後「完璧に

仕上げただいて、ありがとうございます！みんな感心していましたよ」と、発注元の方からお褒めの言葉をいただきました。皆さんの丁寧なお仕事が認められましたね。こうして次のお仕事につながっていくんですね。嬉しい限りです。ずっと行っている「銘菓ひよこ」の箱はいつも以上にたくさん、この1か月で数千個折りました。年末年始皆さんのお土産として、きっと全国に旅立ったことでしょう。

新しい年も、皆さんでいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

楽しい充実した1年になるようにしましょうね！！



あしの家だより



【西新井ホーム】

鎌田 奈緒子

カレンダーも最後の一枚になり、本年も押し詰まってまいりました。西新井ホームでは「さあー今年もあと1ヶ月で終わりですね」と勝さん。「忘年会ではコーラは飲めるの？クリスマスはケーキを食べるの？」と明久さん。15日の作業所忘年会では出発時間の30分前から外出準備を完了させ、姿勢を正しリビングの椅子に座りスタンバイしていた仁さん。お洒落な奥さんは洋服選びに時間をかけていました。さすが、バッチリ決まっていたよ！皆さん今年も張り切っていました。忘年会の次は今年最後のイベントのクリスマス会です(^)キラキラ光るイルミネーションの中、みな大好きなコーラでカンパニー！今年はハンバーグ、唐揚げ、フライドポテト コーンポターージュにサラダ いちごのショートケーキとみかん！と皆さんが好きなものが盛り沢山。待ちきれないメンバーさんはリビング中をぐるぐる歩き回っていました(^) 今年はお歌は聞こえないのかな～？と言うと 和也さんが赤鼻のトナカイを歌い出してくれました♪ 他メンバーさんも手をたたき歌ってくれました。和也さんお上手(^)奥さん美声ですね。楽しいクリスマス会も終わると 明久さんの「年越し蕎麦食べよーね」が始まります。インフルエンザが流行している昨今ですが、ホームでは基本の手洗いうがいをきちんと行って頂いており 21:00 から 22:00 の間には就寝され規則正しい生活を送ってられます。



慌ただししい令和元年 年の暮れ 皆様どうぞお健やかに過ごして下さい。そして良いお年をお迎え下さい。

【西伊興ホーム】

佐藤 美津子

平成から令和に変わったこの一年、天災や自然災害が多い年でした。12月の天気も変わりやすく雨が多かったですね。気温も暑かったり寒かったりでしたがメンバーさんは何事もなく良い一年でした。ショートステイを利用される人もずっと予約で一杯です。メンバーさんとも仲良く過ごせています。

12月15日、作業所において忘年会がありホームの女性三人は大いに飲んで食べたそうです。とてもおいしかったと言っていました。そのため夕飯はあまり進まなかった？とか・・・。また12/25のクリスマス会は大好きなごちそうの上に、プレゼントあり、ケーキもありでとても喜んでもらいました。西伊興ホームの男性達はコーラが苦手なようで500ml一本飲みきれませんでした。女性三人はあっという間に飲みきっていました(^_)

これからお正月休みですがそれぞれ何処かへお出かけするかしら？長いお正月休みですのでインフルエンザなどなにかからないように、健康には充分気をつけて過ごして来てください。また6日に正月の出来事をお話してね！待ってます!!

来年も世話人皆一生懸命頑張りますので、よろしく願い致します。



【健康診断を行います】

毎年行っている健康診断を2月5日(木)に健診車に来て頂き、葦の会作業所で行います。内容は「問診・身長、体重測定・聴力検査・血液検査・尿検査・視力検査・血圧測定・心電図・胸部レントゲン」です。結果はメンバーとご家族にお知らせいたします。注意しなければならない事が見つかった場合は、看護師から詳しくお話させていただきます。年齢を重ねてきたメンバーさんは、今までになかった体の変化も起きてくるでしょう。ご本人の身体のことについてご心配な事がありましたら、ご本人だけでなく、ご家族の方もどんな小さなことでも構いませんのでご相談ください。また、作業所は近くの「西伊興クリニック」さん、「しらいし歯科」さんと協力協定を結んでいます。日常のメンバーの身体や歯の心配事やケアの仕方を相談しつつ、日々のメンバーの様子観察、毎週木曜日の体重・体脂肪・血圧・心拍数のチェックを合わせて、メンバーが健康に快適に過ごせるようご家族と連携しながら支援していきます。



インフルエンザやノロウイルスが流行る時期です。寒さもこれからが本番！体力をつけ、しっかり予防して元気にこの冬を乗り切りましょう。

看護師 釜本

<花売り情報>

1月 8日(水) ビッグ・エー花畑店	1月 9日(木) ベルクス南花畑店
1月15日(水) ビッグ・エー南花畑店	1月16日(木) ベルクス古千谷店
1月21日(火)・29日(水) 竹ノ塚センター	

カルチャー教室 今後の予定

音楽 1月16日	さをり 1月18日
陶芸 1月11日・25日	習字 1月 8日・22日
水彩画 1月10日・24日	

編集後記

あけましておめでとうございます。皆様、どんなお正月を過ごされたのでしょうか？今回の休みは土日が前後について、お休みがいつもより長くのんびりできた方も多いのではないのでしょうか？葦の会作業所も御多分にもれず、9連休という長い休みでした。私は、子供たち夫婦ともゆっくり話す時間をとる事が出来ました。

さて、年始早々映画の話ですが、12月に「家族を想うとき」という映画を観ました。この映画は以前ご紹介した「私はダニエル・ブレイク」のケン・ローチ監督の作品です。この映画はイギリスを舞台にした、不規則な雇用形態によって、必死に働く人たちがワーキングプアに追い詰められていく話です。観終わった後の劇場内は深い深いため息で埋め尽くされました。イギリスだけの話ではなく、今の日本で、いや世界各地で起きている事だから。そして私たちに「働くとは何なのか」という問いをも突き付けてきます。近年日本で起きている様々な問題、子供の貧困＝親の貧困＝労働環境・制度の在り方、差別問題（障がい者、高齢者、外国人労働者・・・）など等、多くの人たちが抱えている生き辛さ。非正規労働のみならず、正規労働者も何時排除されるかもしれないという不安の中で追い詰められる働き方を余儀なくされ、何かあれば「仕方がない、自分が（あなたが）悪い」という自己責任論が横行しています。そんな閉塞感の中、ケン・ローチ監督の言葉「私たちがやらねばならないことはひとつ。耐えられないことがあれば、変えること。今こそ変化の時だ」をかみしめました。私たち福祉に関わる人間も、目の前のメンバーがいきいきとその人らしく生きる事が出来るよう支援するだけではなく、それらは社会に通じる、共通する問題であるという視点をもって多くの人たちと問題を共有化し、より良く変えていく努力をしていく必要があります。最近若い人たちが SNS などを使って「これはおかしいのではないかと」声をあげ、ネットワークを作り具体的な行動を起こす事が増えてきました。新しい年を迎え、法人の理念をより一層具現化できるよう、「誰もが自分らしくいきいきと生きる」事が出来る社会になるよう、いろいろな人と繋がりながら進んでいきたいと思っております。今年も葦の会らしさを発揮して、メンバー・職員皆で元気に楽しく働いて、過ごしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。（池田）